

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	福岡県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	福岡市立高宮小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	21
児童数	73	47	56	63	41	61	12	353	

研究の概要

1. 研究主題

<p>問いの心をもって学習に取り組む児童の育成 ~確かな学力向上を目指した算数科・理科学習指導の実践を通して~</p>
--

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>全学年 算数 3~6年 理科 昨年度より学力向上フロンティアスクールとして、当該教科に関する研究実績があるため。</p>

(2) 年次ごとの計画

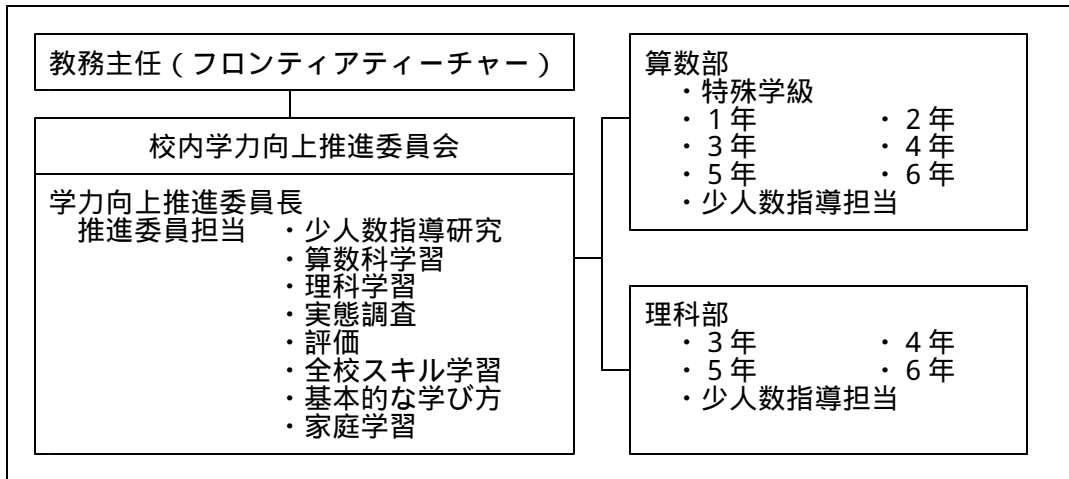
平成14年度	<p>テーマ 問いの心をもって学習に取り組む児童の育成 ~個に応じた教材の開発と個を伸ばす指導法の工夫を通して~ 研究の内容 1 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発 ・ 発展的な学習の教材の開発 ・ 補充的な学習の教材の開発 2 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 ・ 自己選択, 自己決定ができる場の設定 ・ 少人数指導やコース別学習 ・ 交換授業や教科担任制の導入 3 児童の学力の評価を生かした指導の改善 ・ 福岡市評価事例集をもとに, 評価補助簿を作成し, 指導と評価の一体化をめざした学習 研究の方法 1 算数科 ・ 全学年2単元の教材の開発 ・ 第3学年での少人数指導による指導法の研究 ・ 福岡市評価事例集をもとにした, 指導と評価の一体化の研究 2 理科 ・ 5, 6年1単元の教材の開発 ・ 教科専科制と担任との少人数指導による指導法の研究 ・ 福岡市評価事例集をもとにした, 指導と評価の一体化の研究 3 学力検査、知能検査、意識調査による実態調査</p>
	<p>テーマ 問いの心をもって学習に取り組む児童の育成 ~確かな学力向上を目指した算数科・理科学習指導の実践を通して~ 研究の内容 1 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発 2 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善</p>

平成	<p>テーマ 問いの心をもって学習に取り組む児童の育成 ~確かな学力向上を目指した算数科・理科学習指導の実践を通して~ 研究の内容 1 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発 2 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善</p>
----	--

15 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己選択，自己決定ができる場の設定 ・ 少人数指導やコース別学習 ・ 交換授業や教科担任制の導入 <p>3 児童の学力の評価を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市評価事例集をもとに，評価補助簿を作成し，指導と評価の一体化をめざした学習 <p>研究の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 算数科（全学年） 2 理科（3～6年） 3 学力検査、知能検査、意識調査による実態調査と学力の伸びの検証 4 家庭との連携による学力向上の手だての研究（家庭学習）
--------------	--

平成 16 年 度	<p style="text-align: center;">テーマ</p> <p style="text-align: center;">問いの心をもって学習に取り組む児童の育成 ～確かな学力向上を目指した算数科・理科学習指導の実践を通して～</p> <p>研究の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材の開発 2 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善 <ul style="list-style-type: none"> ・ 自己選択，自己決定ができる場の設定 ・ 少人数指導やコース別学習 ・ 交換授業や教科担任制の導入 <p>3 児童の学力の評価を生かした指導の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福岡市評価事例集をもとに，評価補助簿を作成し，指導と評価の一体化をめざした学習 <p>研究の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 算数科（全学年） 2 理科（3～6年） 3 学力検査、知能検査、意識調査による実態調査と学力の伸びの検証 4 家庭との連携による学力向上の手だての研究（家庭学習）
--------------------	---

(3) 研究推進体制



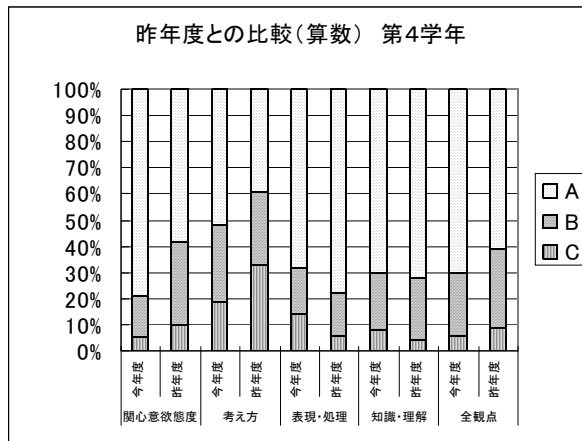
平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

発展的・補充的な学習に進み、単元で学習した内容を深めた問題に取り組んだり、学び直したりすることは、児童の課題に沿った解決となり、自分の学びに喜びを感じている。このことは、休み時間や家庭学習での事象や事物に興味関心を持って行動している姿から伺える。

指導方法・指導体制の工夫は、児童の自己選択・自己決定する場が増えることであり、そのことは、解決した結果だけでなく、その過程を大切にしている児童が増えてきている。

児童の学力の評価を生かした指導の改善により、下記のようにA評価された児童の増加、C評価された児童の減少が見られるようになってきている。



また、児童の学習への意識調査を見ると、自分の学びに自信を持って取り組めるようになってきたことも伺える。

2. 今後の課題

発展的・補充的な学習において、児童の主体性を伸ばす学習過程と教師の支援を工夫すること。
 児童が自己選択・自己決定できる場（指導体制・指導方法）の工夫をさらに
 行い、児童の個性を生かす学習とすること。
 家庭学習など学びへの意欲をさらに喚起するために、確かな学力について、
 保護者への啓蒙をすること。

学力等把握のための学校としての取組

- 定期的な学力調査の実施（年1回 5月）
 ・ 学力検査（算数・理科） ・ 知能検査 ・ 学習に対する意識調査

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度福岡市学力向上フロンティア事業実践交流会
 ・ 平成15年10月1日（水）13：50～
 ・ 全クラス公開授業
 ・ 授業協議会（1, 2年算数）（4, 5, 6年算数）（障害児学級算数）
 （3, 5, 6年理科）の4協議会
 ・ 福岡市内の小学校教職員、福岡市PTA協議会、本校の地域と保護者
 昨年度の研究内容をHPに掲載
 市外・県外の学校訪問に対して、フロンティアティーチャーによる研究発表

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7～12学級
 13～18学級 19～24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無